

1

解説

(1)  $\arg z_{n+1} = \arg z_n + (2n+1)\arg w$  であるから

$$n \geq 2 \text{ のとき } \arg z_n = \arg z_1 + \left\{ \sum_{k=1}^{n-1} (2k+1) \right\} \arg w = n^2 \arg w = 5^\circ \times n^2$$

これは、 $n=1$  のときも成り立つ。

よって、 $z_n$  が実数  $\iff 5^\circ \times n^2 = 180^\circ \times k$  ( $k$  は整数)

$$\iff n^2 = 36k$$

ゆえに、 $z_n$  が実数になるための必要十分条件は  $n$  が 6 の倍数であることである。

(2)  $\arg \frac{z_{n+1}}{z_n} = (2n+1)\arg w = 5^\circ \times (2n+1)$

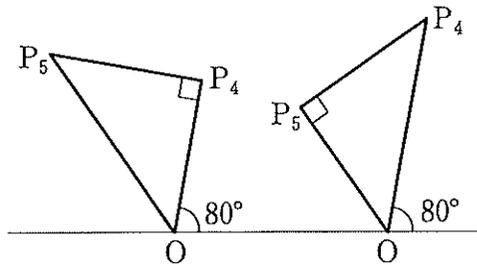
$1 \leq n \leq 17$  であるから  $15^\circ \leq 5^\circ \times (2n+1) \leq 175^\circ$

$\triangle OP_n P_{n+1}$  が直角二等辺三角形であるから

$5^\circ \times (2n+1) = 45^\circ$  または  $90^\circ$   $n$  は正の整数であるから  $n=4$

よって  $\angle P_4 O P_5 = 45^\circ$  であるから  $|w|^9 = \sqrt{2}$  または  $\frac{1}{\sqrt{2}}$

$|w|=a$  であるから  $a=2^{\frac{1}{18}}$  または  $2^{-\frac{1}{18}}$



2

解説

方程式  $f(x)=0$  の整数解の1つを  $x=n$  とすると

$$n(n^3 + an^2 + bn + c) = -1$$

$a, b, c, n$  はすべて整数であるから  $n = \pm 1$

[1]  $f(x)=0$  が  $x=1$  を重解にもつとき  $f(x) = (x-1)^2(x^2 + px + 1)$  と表される。

$$\text{よって } f(x) = x^4 + (p-2)x^3 - 2(p-1)x^2 + (p-2)x + 1 \dots\dots \textcircled{1}$$

ゆえに、 $a, b, c$  は整数であるから  $p$  は整数。

また  $x^2 + px + 1 = 0$  は虚数解をもつ。

よって  $D = p^2 - 4 < 0$  かつ  $p$  は整数。

ゆえに  $p = \pm 1, 0$

① から、 $p=1$  のとき  $a=c=-1, b=0$

$p=0$  のとき  $a=c=-2, b=2$

$p=-1$  のとき  $a=c=-3, b=4$

[2]  $f(x)=0$  が  $x = \pm 1$  を解にもつとき  $f(x) = (x^2 - 1)(x^2 + qx - 1)$  と表される。

このとき、 $x^2 + qx - 1 = 0$  は虚数解をもたない。

よって、不適。

[3]  $f(x)=0$  が  $x=-1$  を重解にもつとき  $f(x) = (x+1)^2(x^2 + rx + 1)$  と表される。

$$\text{よって } f(x) = x^4 + (r+2)x^3 + 2(r+1)x^2 + (r+2)x + 1 \dots\dots \textcircled{2}$$

[1]と同様にして  $r = \pm 1, 0$

② から  $r=1$  のとき  $a=c=3, b=4$

$r=0$  のとき  $a=b=c=2$

$r=-1$  のとき  $a=c=1, b=0$

以上から  $(a, b, c) = (-1, 0, -1), (-2, 2, -2), (-3, 4, -3), (3, 4, 3),$

$(2, 2, 2), (1, 0, 1)$

3

解説

$$f(-1) = -1 \text{ から } a - b + c = -1 \dots\dots ①$$

$$f(1) = 1 \text{ から } a + b + c = 1 \dots\dots ②$$

$$①, ② \text{ から } b = 1, c = -a$$

$$\text{ゆえに } f(x) = ax^2 + x - a$$

$$g(x) = 3x^2 - 1 - f(x) \text{ とおくと}$$

$$g(x) = (3-a)x^2 - x + a - 1 \dots\dots ③$$

$$a = 3 \text{ のとき } g(x) = -x + 2$$

これは、傾きが  $-1$  の直線を表し、 $g(1) = 1 > 0$  であるから適する。

$a > 3$  のとき ③ は上に凸の放物線を表し、

$$g(-1) = 3 - a + 1 + a - 1 = 3 > 0,$$

$$g(1) = 3 - a - 1 + a - 1 = 1 > 0 \text{ であるから適する。}$$

$a < 3$  のとき ③ は下に凸の放物線を表し、

$$g(x) = (3-a) \left\{ x - \frac{1}{2(3-a)} \right\}^2 - \frac{1}{4(3-a)} + a - 1$$

$$a < 3 \text{ であるから } \frac{1}{2(3-a)} > 0$$

$$\frac{1}{2(3-a)} \geq 1 \text{ のとき } g(1) = 1 > 0 \text{ であるから適する。}$$

$$\text{このとき } \frac{5}{2} \leq a < 3$$

$$0 < \frac{1}{2(3-a)} < 1 \text{ のとき すなわち } a < \frac{5}{2} \text{ のとき}$$

$$-\frac{1}{4(3-a)} + a - 1 \geq 0 \text{ から } -1 + 4(3-a)(a-1) \geq 0$$

$$\text{すなわち } 4a^2 - 16a + 13 \leq 0$$

$$\text{これを解くと } \frac{4-\sqrt{3}}{2} \leq a \leq \frac{4+\sqrt{3}}{2}$$

$$a < \frac{5}{2} \text{ であるから } \frac{4-\sqrt{3}}{2} \leq a < \frac{5}{2}$$

以上から、 $-1 \leq x \leq 1$  で常に  $g(x) \geq 0$  となる  $a$  の値の範囲は  $a \geq \frac{4-\sqrt{3}}{2}$  となる。

$$\text{このとき } I = \int_{-1}^1 (2ax+1)^2 dx = 2 \int_0^1 (4a^2x^2+1) dx = 2 \left( \frac{4}{3}a^2 + 1 \right) = \frac{8}{3}a^2 + 2$$

$$\text{したがって } I \geq \frac{8}{3} \left( \frac{4-\sqrt{3}}{2} \right)^2 + 2 = \frac{44-16\sqrt{3}}{3}$$